

2021.9 Vol.91

おうしゅう 福祉だより

OSHU FUKUSHI DAYORI



ホームページ
QRコード



わたしたちの募金は
わたしたちの町のために
使われています

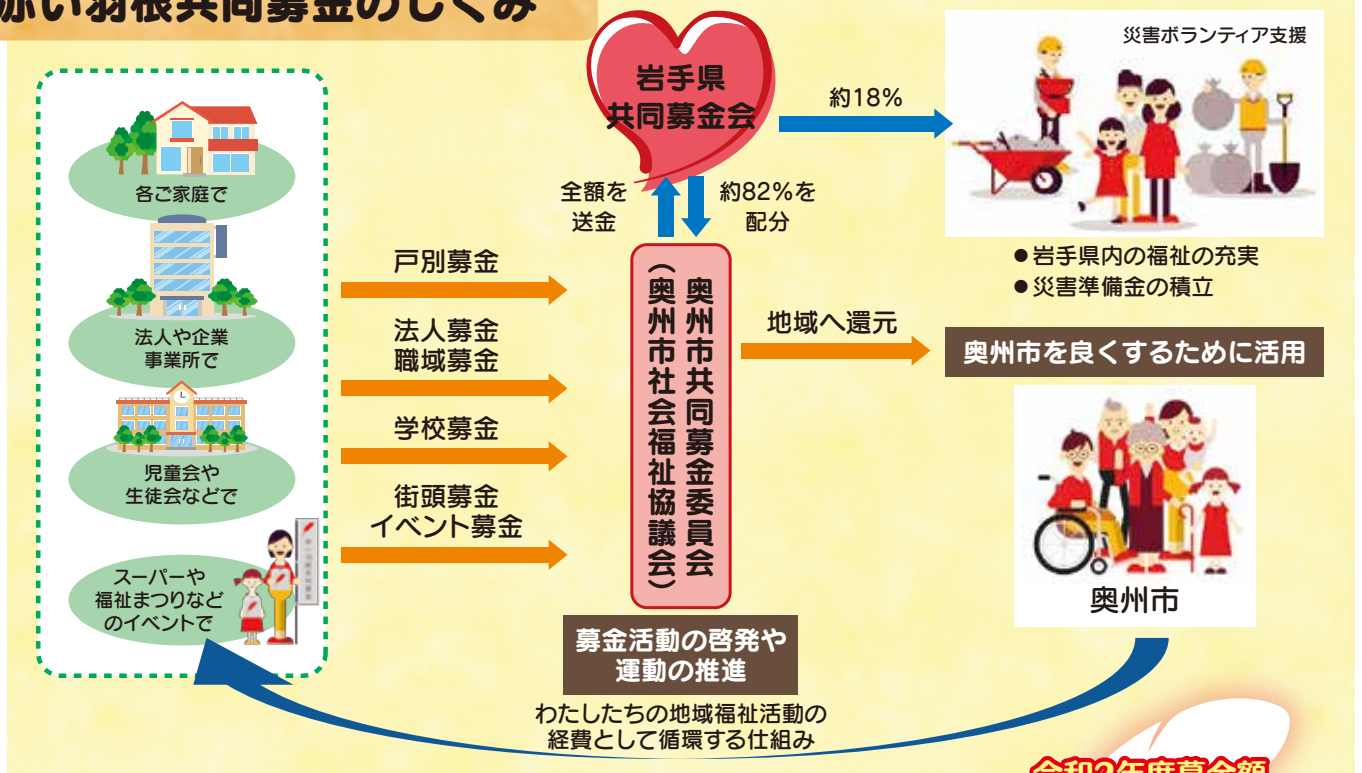
今年度
目標額 **2,500万円**

今年度も10月1日より、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。
共同募金は、戦後間もない昭和22(1947)年に、市民主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。
社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。
新型コロナウイルス禍で非常に心苦しいところですが、共助を支える共同募金運動の趣旨をご理解いただき、今年度もご協力をよろしくお願いたします。

- P2 赤い羽根共同募金
- P3 インフォメーション
- P4 社協のおしごと



赤い羽根共同募金のしくみ



令和2年度募金額
22,916,769円
ありがとうございました

赤い羽根共同募金の使いみち

奥州市で集まった募金は、わたしたちの町を支える活動に使われています。

①地域福祉活動費として身近な地域で活用《約1,747万円》

地域セーフティネット会議の開催



防災福祉マップをもとに、地域の要支援者の確認や避難方法などを話し合っています。

障がいのある方の生活を体験しました。

キャップハンディ体験



▲その他、地域で支援が必要な方の見守りや声かけ、住民交流等を目的とした「ふれあい・いきいきサロン」の開催、除雪などの「生活支援活動」等、行政区（小地域）における地域福祉活動を推進するため、地域セーフティネット会議として福祉関係者で話し合いを行っています。

おかげさまを学ぶ講座の開催

介護予防ひろばの実施

くらしとこころの総合相談会の開設

ボランティアセンターの運営 など

②地域で身近な福祉に取り組んでいる振興会や町内会、ボランティア団体等へ助成

みんなの募金で福祉事業《約148万円》

【市共同募金会助成】

八幡会館運営委員会、姉体中央町内会、姉体南方振興会、北鶴ノ木自治会、黒田助振興会、川東自治会、田谷自治会、広瀬第5区自治会、広瀬第8区自治会、藤里第6区自治会、梁川第5区自治会、伊手第2行政区自治会、皂田自治振興会、松ノ木沢部落公民館、南前沢公民館自治会、鹿合部落会、桑畑行政区、川西行政区

福祉のまちづくり支援事業《約109万円》

【県共同募金会助成】

佐野健康と文化の里づくり推進協議会、宮田老人クラブつくも会、点訳Eye工房、三丁自治会、前沢手話サークル竹の子、新里部落自治会、天田公民館

スマホからも、募金できます。





第16回奥州市社会福祉大会

だれもが心の豊かさと幸せを実感できる「福祉のまち奥州市」をめざして。

- ▼日時 令和3年10月14日(木)
午後1時30分～午後3時15分(会場午後1時)
- ▼会場 奥州市文化会館大ホール(参加無料)
- ▼式典 午後1時40分～午後2時10分
*挨拶 *表彰 *祝辞
- ▼記念講演 午後2時10分～午後3時10分
*演題 「共に生きる そして私らしく生きる」
*講師 社会福祉法人光寿会 理事長
真宗大谷派碧祥寺 住職
太田宣承(おおたせんしょう)氏
- ▼問合せ 市社協総務財政課 ☎25-6158

※新型コロナウイルス感染症予防のため、参加者を制限して行うことにいたしました。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、奥州市の関連施設の原則休館措置が9月30日まで行われておりますが、さらに延長される場合は、大会の挙行を中止いたします。



【講師プロフィール】

1974年旧沢内村生まれ。岩手県西和賀町の真宗大谷派碧祥寺住職。介護の現場で、生と死に向き合う本人や家族、スタッフから学んだことを各地に伝えている。

音声訳ボランティア初級講習会

ボランティア活動の初心者を対象に、音声訳ボランティアとして活動するための基礎技術の習得を目指し、講座を開催します。

- ▼日時 令和3年10月25日、11月1日、8日、15日(全4回・毎週月曜日) 午後1時30分～午後3時30分
- ▼会場 奥州市総合福祉センター
- ▼対象者 奥州市在住・在勤で、音声訳ボランティア活動に興味・関心のある方
- ▼参加費 無料
- ▼内容 書籍や雑誌、新聞などの情報を“声で伝える”音声訳ボランティアとしての心構えや、音声訳(読み)の基礎技術を習得します。
- ▼定員 15人
- ▼申込締切 令和3年10月8日(金)
- ▼問合せ 市社協地域福祉課・水沢支所 ☎25-6025

※新型コロナウイルス感染症の拡大動向により、参加者や会場の状況等を考慮し、延期または中止することがあります。



心温まる寄附金をお寄せいただきました

866,086円〔令和3年4月1日～7月31日受付分〕

- 《水沢》 岩手県美容業生活衛生同業組合水沢支部 会長 後藤弘子 及川博之 菊地せい子
後藤文子 (株)菅原工務所 代表取締役 菅原祐子 匿名3名
- 《江刺》 故 佐藤久吾
- 《前沢》 及川哲郎 小林長男 鈴木千春 前沢ロータリークラブ
- 《胆沢》 樋口ヤスエ 匿名1名

(敬称略)

温かいご支援ありがとうございました。



社協のおしごと

奥州市社会福祉協議会では、5課32事業所の約320人の職員が働いています。このコーナーでは、市民の皆さんに社協職員の仕事の内容を知っていただけるよう事業所を紹介していきます。

職場② こども福祉課

Q こども福祉課の職員は何名ですか？



課長 及川純子

事務局4名と放課後児童クラブ職員109名（8月1日現在）の合計で113名です。



Q こども福祉課はどのような課ですか？

子どもと子育て世帯が住んでいる地域とつながり、住んでいる地域で安心して暮らせる仕組みづくりを目指した事業に取り組んでいる課で、今年度から新設されました。

Q 具体的にどのような仕事をしていますか？

【放課後児童クラブ運営】

奥州市の指定管理・委託事業として、現在市内15か所の放課後児童クラブを運営しています。放課後児童クラブは、昼間保護者が家庭に不在になる小学生の児童が利用する施設です。職員は、子どもの自主性・主体性を培い、それを尊重する支援に取り組んでいます。



【ファミリーサポートセンター運営】

子育て中の保護者が、ちょっと疲れた、用事ができた、仕事で遅くなる・・・そんなとき、有償ボランティアさんがお子さんを預かってくれる事業です。こども福祉課内の担当職員が、子育てのお手伝いをしてほしい「おねがい会員」と、お手伝いをしてくれる「まかせて会員」をマッチングし、安心安全なサポートをコーディネートします。

【福祉教育推進校事業】

市内の学校や施設と連携し、子ども達が福祉的な感覚を身に付け、様々な人や環境の中で成長できるよう、福祉教育の推進に取り組んでいます。

【子ども食堂運営支援】

子ども食堂の立ち上げや運営の支援をします。今年度から企業や奥州市と連携し、子どもがひとりでも食べに来られる場所、地域誰もが集まれる場所としての子ども食堂の運営を支援していきます。コロナ禍での子ども食堂の立ち上げも一緒に考えていきます。

奥州市社会福祉協議会			連絡先	
総務財政課 25-6158	地域福祉課 25-6188	水沢支所 25-6025	江刺支所 35-8081	前沢支所 56-2148
胆沢支所 46-3111	衣川支所 52-3144	生活応援課 25-7171	こども福祉課 25-6158	介護事業課 51-1181